



「みんなで同じゴールに向かって進もう」



- 冬を越すために南に向かう雁がV字型の編隊を組んで飛んでいくのは、一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるからです。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために、上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴きながら前の雁を励まします。先頭の雁が疲れると、最後尾

に回って別の雁と交代します。群れの一羽の病気やケガで脱落すると、二羽の雁が助けるために、付き添って地上に降りてきます。この二羽は、脱落した雁が回復するか、亡くなるまで一緒にいて、その後新しい群れに加わるか、独自の編隊を作って元のグループに追いつきます。仲間同士、助け合って飛ぶことによって大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことができます。「早く行きたければ一人で行け。遠くまで行きたければみんなで行け」〈アフリカの諺〉

- 学校は冬休みが終わり、一年のまとめの時期を迎えました。これから3月までは、一年の中でも一番子どもが変われる時期だと思います。それは「卒業・進級」という大きな節目に向かって、学校全体が一つにまとめるからです。また、「卒業・進級」という同じ目標に向かって、子どもたちが信頼関係を築いてきた仲間と一緒に助け合ったり励まし合ったりするからです。人間も同じゴールに向かってみんなで進むと、1+1が2ではなく、5にも10にもなると思います。
- 卒業式・修了式では、昨年よりも成長した子どもたち姿を見るために、あと少し、もう少し、みんなで前へ進みましょう。

かづの校副校長 加賀谷 勝